

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：感染症科 松尾 貴公

【研究責任者】

聖路加国際病院 感染症科 森 信好

聖路加国際病院 感染症科 松尾 貴公

ブドウ球菌による血液培養陽性患者を対象とした菌名同定に 推定に関する研究

1. 研究の対象

2017年4月から2018年3月までにブドウ球菌による菌血症をきたした20歳以上の方。

2. 研究の目的・方法

ブドウ球菌には主に黄色ブドウ球菌とコアグララーゼ陰性ブドウ球菌の2つに大別されます。黄色ブドウ球菌は骨髄炎や関節炎、感染性心内膜炎など全身に重篤な感染症を引き起こすことが知られています。一方、コアグララーゼ陰性ブドウ球菌は血液培養採取時の皮膚の雑菌の混入により陽性となることが多く、真の感染症かどうかを見極めることが適切な治療選択のために重要となります。しかし、菌の同定に関する最終結果が出るのが約3日かかります。そこで、入院時に採取する血液検査のうち、体内の血中に菌が感染しているかどうかを見極めるために、検査で陽性となった菌の形態を観察し、血液培養陽性時の菌の形態を観察し、最終結果が判明する前に菌を推定できないかどうかを研究します。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、細菌検査室での血液培養ボトルからグラム染色と呼ばれる染色を顕微鏡で観察しその形態についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2021年3月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

血液培養陽性の最終菌名、グラム染色の形態(大きさ、配列の仕方)等